

## アナログプレイヤーの比較試聴(15)

### —モーツアルトを聴く(15)—

#### 1. 始めに

前報(14)に引き続き、アナログプレイヤー3機種 of 比較試聴を実施していきます。

#### 2. アナログプレイヤーの比較試聴方法

アナログプレイヤー3機種 of 試聴経路は前報(1)と同様です。

音源は、モーツアルト of アナログ盤を使用していきますが、今回はアンサンブル of 曲です。

ドイツグラモフォン MG2172

モーツアルト ディヴェルティメント第10番ニ長調

ディヴェルティメント第11番ヘ長調

ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ベルリンフィル

#### 3. アナログプレイヤーの比較試聴結果

ZANDEN Model120 経由 of LINN LP-12 と Grrad401 では、TELDEC、逆相、第4時定数 High で聴いていきます。

ThorensTD124 of 再生では、ディヴェルティメントは喜遊曲と訳されており、宮廷 of 宴会 of BGM のような曲ですが、穏やかでおっとり and 気軽に聴ける音質です。

LINN LP-12 of 再生では、いかにも喜遊曲らしい美しい旋律が流れますが、ディテールが再現され、カラヤンらしい流麗な表現で、繊細感に富んだ再生ぶりです。

Grrad401 of 再生では、ThorenTD124 と LINN LP-12 of 中間的な音質です。

#### 4. まとめ

3機種3様 of 再生パフォーマンスが確認できましたが、繊細な表現は LINN LP-12 が最上ですが、Grrad401 と ThorenTD124 もそれぞれの魅力があります。

以上